

看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

都政・医療福祉対策室長 事務所ニュース

No. 24 2017年 2月 9日



都議選、6月23日告示、7月2日投票へ

都議選は、都民のくらしや子育て、築地市場の豊洲移転問題など、都政の方向を左右するとともに国政にも影響を与える重大な選挙です。藤田りょうこ都政・医療福祉対策室長に聞きました。

年初、数多くの集いを駆けめぐりましたが

1月は多くの新春のついでで会場から会場へ次々とごあいさつさせていただきました。また、多くの方から激励の声をかけていただき、都政に対する期待の大きさを感じています。

新しいポスターの反応は？

「あなたが藤田さん？」

ちょうど新年からポスターの張り替えをしていただきました。テ

ザインの刷新で、自分自身背筋が伸びる気分です。

以前のスタイルとの比較で、訪問の際に「あなたが藤田さん？」と見つめられることもありましたが、しかし9割以上の方から「今のスタイルの方がとても良い」と言っていたので、自信を持ってメイクをしています。

街なかや訪問先での反応は？

百条委員会かならず

一番に豊洲の問題が話題になります。



武蔵新田駅で朝宣伝に立つ藤田りょうこ室長（8日）

多くの都民が責任の追及を望んでいることを知り、今こそ日本共産党がかねてから提案してきた百条委員会を設置すべきだと考えます。また小さいお子さんやお孫さんを育てている方は、保育環境の改善を求めています。

保育士も働きにく

党躍進をめざす新春演説会

【弁士】
都政・医療福祉対策室長
藤田りょうこ



国会議員の出席を予定しております

3月12日(日)

午後2時半開会(2時開場)

池上会館 2階集会室
(池上駅徒歩7分)

主催：日本共産党大田地区委員会

改めて決意を

く、子どもにも危険な保育の規制緩和は、これ以上進めさせるわけにはいきません。

私、藤田りょうこをぜひとも

この間、小池都知事の人気にあやかろうと、自民党や公明党が右往左往しています。

共産党都議団の追及をことごとく無視して築地の豊洲移転などを進めてきたのに、自分への風当たりを気にして態度を一変させるのは許せません。

大型開発優先の都政を進めてきた議員に、税金の使い方を決める資格はありません。高齢者、働く世代、子育て世代とともに悩み、課題と向き合い、闘ってきた私だからこそ、都民のための都政に転換できます。ぜひとも藤田りょうこを都政にお送りください。



〒144-0051 大田区西蒲田6-34-7 ☎3736-1494 fax3735-4522

URL <http://r-fujita.jcp-ota.jp/> E-mail r-fujita@jcp-ota.jp

Twitter @ryokofujitajcp

Facebook @ryoko.fujita.jcp

藤田りょうこさんを何としても都政へ

わたしも
応援
します！

都民に寄り添うやさしい政治の実現へ

日本共産党千鳥後援会・風舟 中島邦枝

私が藤田りょうこさんを意識したのは大田病院でのことです。昨年1月自己管理不足から、2週間入院生活を送りました。

安心して病に向き合え

「本担当の看護師です」と実にテキパキと挨拶、私のカルテが頭に入っているようで、「お忙しかったんですね。母も忙しく活動しているのによく解ります」と言ってくれて驚きました。早速仲間に「こんな看護師さん知ってる？」と聞くと母さまは共産党の元区議さんでした。大田病院に入院して、医師も



中島邦枝・修一さんご夫妻。(蒲田西口での藤田りょうこ駅頭宣伝の後、写す)ご夫妻は、藤田りょうこ応援歌「オレレンジの風を」を作詞・作曲しています

看護師も信頼出来て、安心して病に向き合え、明るい希望がもてて心が温かくなりました。

堂々たる訴えに感動

そして春、アプリコで行われた演説会で山添拓参議院候補を応援する藤田さんの訴えを聞き、原稿も見ずに堂々と話す姿に感動しました。その時点で既に都議補選候補に決まっていたのです。社会保障切り捨てと医療崩壊の中で、政治を変える決意をしてくれた藤田さんに感謝の気持ちで一杯です。

胸をうつ真摯な姿勢

新婦人の若い世代の「つながる力フェ」立ち上げに尽力され、保育園でわが子の命を奪われたママさんに寄り添い共にたたかう真摯な姿勢は胸を打ちます。認可保育園の増設を！保育士の処遇改善を！都営住宅を増やして！介護制度何とかして！都民の切実な願いをガッチリ受け止め、実現してくれる藤田りょうこさんを都政へ送るため私も全力を尽くします。

《主な駅頭宣伝》

- ※雨天中止または変更の場合あり
- 朝の駅頭** 7時15分～8時
 - 10日 (金) 千鳥町駅
 - 13日 (月) 大岡山駅
 - 14日 (火) JR蒲田西口
 - 15日 (水) 御嶽山駅
 - 夕方の駅頭** 17時～18時
 - 10日 (金) JR蒲田西口

藤田りょうこ成長記 ②4

全力疾走20代編 藤田りょうこ

共産党に入党

私は22歳の時に、職場の婦長さんに誘われ日本共産党に入りました。「社会が良くなれば、患者さんも私たちも暮らしやすくなる」という思いでした。

夜勤も始まり一人で判断することが増え、毎日が勉強でした。また、患者さんの思いに寄り添う看護が、いかに時間の必要なことかと感じました。

夜遅くまで語り合う

党の支部会議では、「夜勤で一度も座れず明け方血圧を測っていたら一瞬自分が寝てしまった」「忙しさのあまり患者さんに頼まれていた氷枕を



入党歓迎会で挨拶する私

忘れた」「介助が必要なる方の対応に時間がかかり、末期の患者さんの話をゆっくり聴く時間がない」など普段話せない悩みなどを気軽に話し合い、なぜそうなのか、どうしたら改善するのか、などを夜遅くまで話し合いました。

(22歳 その2)



辻演説する藤田りょうこ室長 (武蔵新田付近、6日)